

リチャード・ベレンガーテン
Richard Berengarten

閑田 朋子 訳
Translated by Tomoko Kanda

ヴォルタ（宵の散歩）

・・・たそがれどきに・・・

ばら色の頬した太陽王、昼に君臨する丸い金貨、
あなたがわたしに触れたから、わたしの肌は角膜になる
わたしの背骨は視神経になる、そしてわたしの身体はぶるぶる震える
この海に町にあなたが注ぐ黄金の陽だまりに
くらくらぐらぐら目がくらむ。
ここにはかつて家々が立ち並び、
—そして今でもたしかに同じ通りがあるもの—
それは今のこの町とは別の町、あなたががらりと様子を変えた。

わたしたちは海岸沿いを歩く。夜釣りの漁船は準備万端、
モーターがうなりをあげて、灯油ランプが舳先（へさき）に灯れば、
町中あげて宵の散歩に繰り出して、
恋人たちは腕を組み、青年らは闊歩（かっぽ）して、
母親父親たち、子供らはアイスクリームを食べながら、
老人たちは通りのカフェのテーブルから町を見守って、
そして陰を濃くした丘陵が、あなたのそばへと寄って来る、
まるで人懐こい動物たちのように。

美しい残照が、丘に 入り江に広がって、
あなたの腕が私の腕に今軽く触れた、偶然を装って、
わたしの隣を歩いているこの娘が軽く触れたみたいに。
彼女は大きなヒップを左右にふってちょこちょこ歩き
漆黒の髪を背になびかせて、きゃしゃな喉と肩は
夏の日に焼けて濃い褐色、そして彼女のオリーブ・ブラウンの目が笑ってる。

わたしはあなたを飲み干すよ、揺らめく光を飲み干すよ、ワインのように、音楽のように、
ちょうど彼女の祖先らが、数千年もあなたを飲み干してきたように。

多孔性の町、彼女の名はエレフセーリア（自由）、
あなたの傷あとは彼女の瞳の中の灰色の斑点、
光と光の屈曲が、語るように歌うように彼女の顔にちらちらと戯れるこの時に、
あなたの光を媒介し、あなたの光を守るため、
その深い両の瞳の井戸にその光を集めながら、
この波止場あたりをねり歩く古（いにしえ）からの権利はまだ彼女のもの、
踊り子のようにあなたを踏みしだく、素敵な自由はまだ彼女のもの。

すてきな宵、数千年を経た光、
澄んだ声の歌い手は、この娘と同じくらいの別嬪（べっぴん）で、
わたしはあなたがこの町とその人々に
放つ恩寵を崇（あが）めずにはいられない、
この町は、その恩寵が触れるものすべて、全世界の像を刻む一つの鑄型（いがた）。
わたしはあなたのとらわれ人ーもしあなたの民ではないのなら。
あなたをすべて飲み干したくて、わたしはすべての細孔を
あなたのきらめきで埋めるだろう、そのきらめきこそは彼女の自由。

リチャード・ベレンガーテン
Richard Berengarten

閑田 朋子 訳
Translated by Tomoko Kanda

interLitQ.org